

明るい選挙啓発作品

秀 優



私の見た選挙と一票の大切さ

中学二年 桜井紀代美

私たちが選挙といわれてもピンとこないと思う。でも私たちの身近には、よく考えてみるとけっこうたくさん選挙がある。まず生徒会の選挙これが一番身近かなものだと思う。やり方も町の選挙とだいたい同じだ。町の選挙のやり方は、まず立候補者の人たちのポスターが町のあちこちにはられる。そして、立候補した人たちが懸命に自分をアピールしている。でもそのうらには、ワイロ、お金を出して票を買うなどというきたない手を使って当選する人もいる。それが私たち子供の目には、見えな

いと思つている大人たちは、とてもきたないと思う。ワイロをくばる人も悪いが、それをもたらう人も悪いと思う。ワイロなどもらわずに、自分自身この人が

一番いい人。その人が自分たちのために一生懸命に何かをやってくれ、必要なことを責任もつてやってくれる人であるかそうでないかどうかなどとたくさんこのことを考えて、一票を投票することが一番大切なことではないかと思う。でもいろいろ考えて責任ある投票をしてくれる人は、ごくわずかだと思う。それはだれでも「私の一票くらいなくても」という考えをもっているからだと思う。誰でもこう思うかもしれないが、せっかく一票あるのだからきちんと投票してもよいと思う。その一票が私たちの生活など数多くの政治などに関係してくるからである。生活や政治を左右する一票であるから責任をもつて投票してほしいと思う。私たちは、投票し

私のひとこと



最近、あちこちで、車の事故が多発しています。なぜ、こんなにも、事故が多くなったのでしょうか。一つには、経済の高度成長により、車が急激に増えたこと。

親、無理もしくなりました。また、農業の傍ら、保育所の送迎バスをあまり、かわい子ど達の命をあずかっているので、朝夕、気をつけて運転はしていますが、慣れてくればくるほど、ヒヤリとさせられることがたびたびです。始発の前の整備点検はもちろんしていますが、心と時間にゆとりを持って、運転することが大切ではないでしょうか。

路上でおもうこと

浅野 憲一 (三本松)

高速道路とは違い、まだまだ人情の田舎道。腹は立てず、気は長く…… ゆずり合う心を忘れず…… ゆずってもらった…… 礼の一言も忘れずに。

春の全国火災予防運動

2月28日～3月13日

怖いのは「消したつもり」と「消えなはず」

車は「便利な動く足」だけに、つい、大事な命が、そして、人様の命が……とこのことを忘れ、運転しがちです。 若い時は、乱暴な運転もしましたが、今は、もう、私も人の

